

8.8 歩行者空間の快適性

8.8.1 調査事項

調査事項は、表 8.8-1 に示すとおりである。

表8.8-1 調査事項(東京2020大会の開催後)

区 分	調査事項
予測した事項	・緑の程度 ・歩行者が感じる快適性の程度
予測条件の状況	・気象の状況 ・周辺土地利用条件
ミティゲーションの実施状況	・アクセス経路沿いの既存街路樹について可能な限りの保全を図る。 ・その他の都道の街路樹や公園の樹木を適切に維持・管理することにより、夏の強い日差しを遮る木陰を確保するとともに、まとまった緑による気温上昇の抑制効果を高めていく。 ・日陰の確保等歩行者空間の暑さ対策について可能な限りの配慮を行う計画である。

8.8.2 調査地域

調査地域は、計画地及びその周辺地域とした。

8.8.3 調査手法

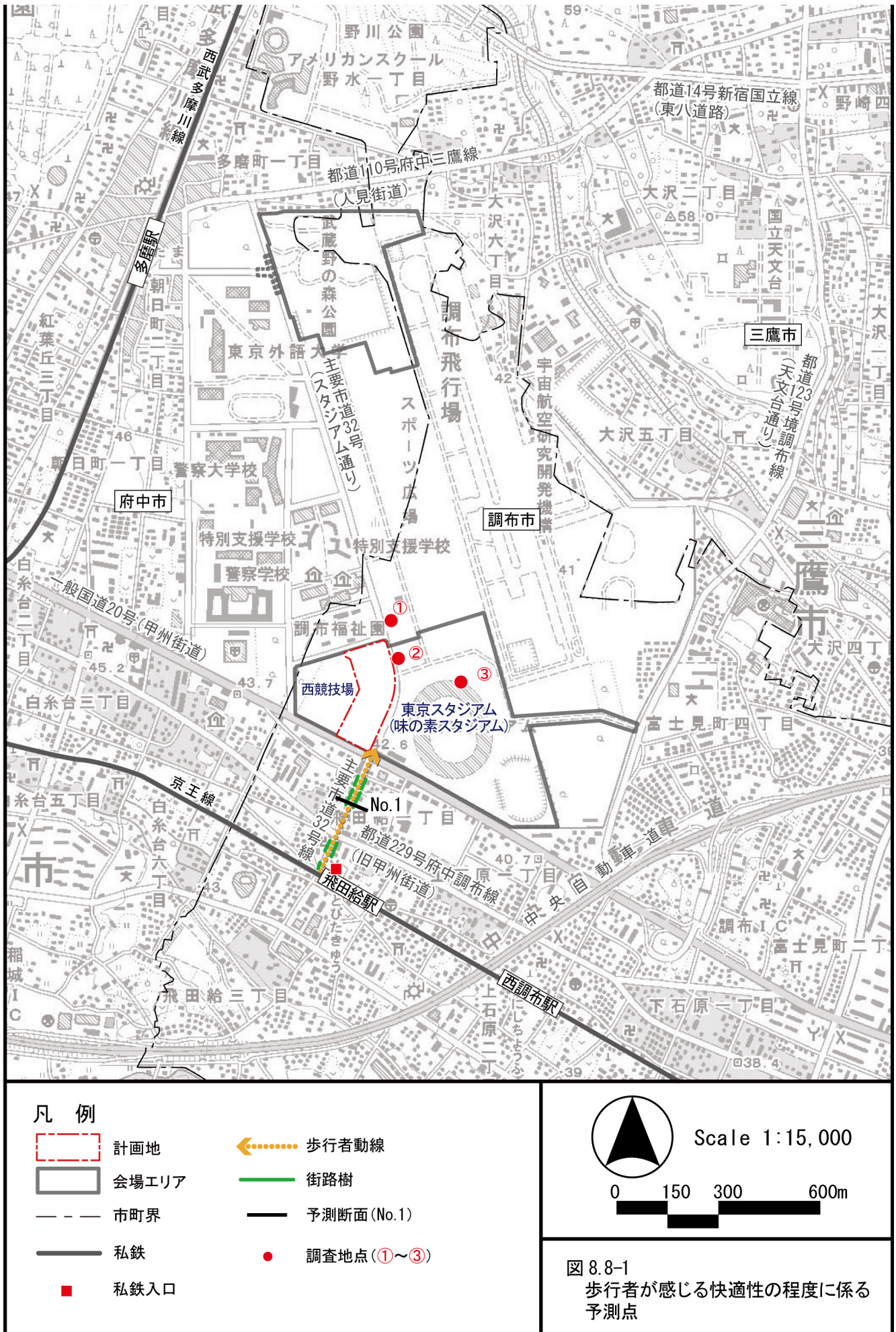
調査手法は、表 8.8-2 に示すとおりである。

表8.8-2 調査手法(東京2020大会の開催後)

調査事項		緑の程度	歩行者が感じる快適性の程度
調査時点		施設の供用が開始され、事業活動が通常の状態に達した時点とした。	
調査期間	予測した事項	2021年の夏季とした。	
	予測条件の状況	2021年の夏季とした。	
	ミティゲーションの実施状況	2021年の適宜とした。	
調査地点	予測した事項	公共交通機関から計画地への主要なアクセス経路（図8.8-1）とした。	図8.8-1に示す調査地点①～③とした。
	予測条件の状況	計画地及びその周辺とした。	計画地周辺とした。
	ミティゲーションの実施状況	計画地及びその周辺とした。	計画地周辺とした。
調査手法	予測した事項	現地調査(写真撮影等)及び関連資料の整理による方法とした。	気象庁の観測結果等の既存資料により、暑さ指数(WBGT)の状況の整理による方法とした。また、熱中症指標計を用いて現地にて暑さ指数(WBGT)の計測を行った。熱中症指標計の諸元は、表8.8-3に示すとおりである。
	予測条件の状況	現地調査(写真撮影等)及び関連資料の整理による方法とした。	
	ミティゲーションの実施状況	現地調査(写真撮影等)及び関連資料の整理による方法とした。	

表 8.8-3 熱中症指標計の諸元

名称	熱中症指標計 WBGT-213AN
メーカー	京都電子工業
規格	JIS B 7922（電子式温球黒球温度(WBGT)指数計）適合品
寸法、重量	幅 40×長さ 240×厚さ 32mm、約 110g（乾電池含む）



8.8.4 調査結果

(1) 調査結果の内容

1) 予測した事項

ア. 緑の程度

公共交通機関から計画地への主要なアクセス経路では、京王線飛田給駅からのアクセス経路については、写真 8.8-1 に示すとおり、歩道上の街路樹により緑陰が形成されており、緑の程度は事業実施前と同様であった。



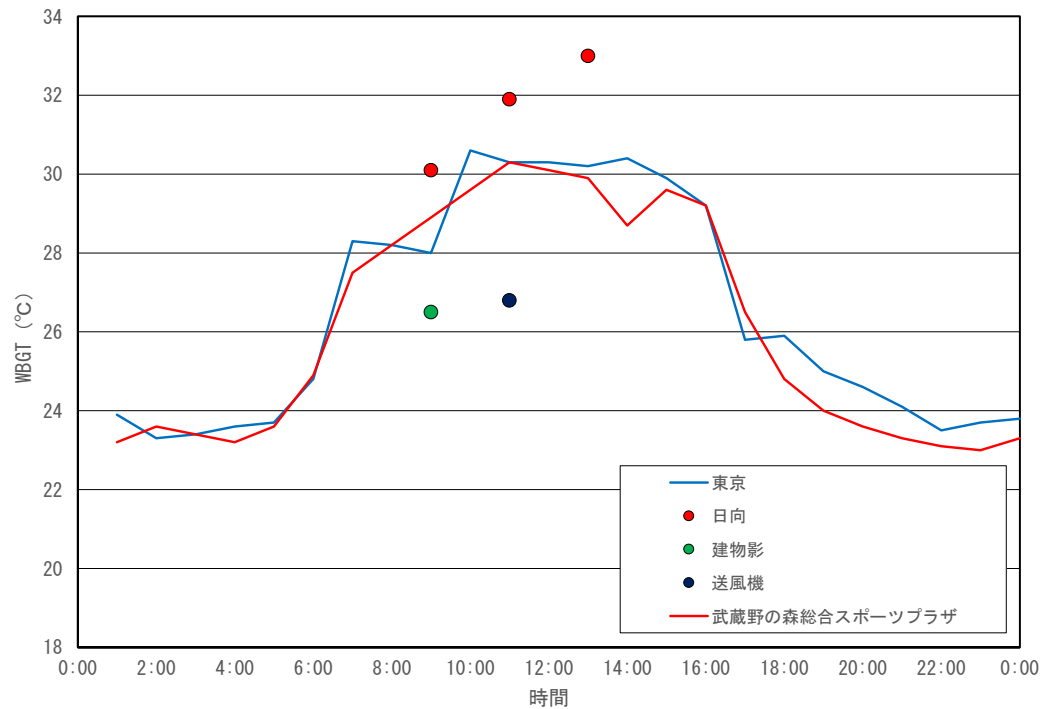
写真 8.8-1 歩道上の緑陰の状況 (No. 1)

イ. 歩行者が感じる快適性の程度

武蔵野の森総合スポーツプラザ周辺における暑さ指数 (WBGT) の測定結果は、表 8.8-4 に示すとおりである。また、東京 2020 オリンピック・パラリンピック熱中症予防情報サイトにおける武蔵野の森総合スポーツプラザ、環境省熱中症予防情報サイトにおける東京の測定値との比較は、図 8.8-2 に示すとおりである。

表 8.8-4 暑さ指数 (WBGT) 測定結果 (2021 年 7 月 21 日)

時間	暑さ指数 (WBGT)			備考
	日向	建物影	建物影・送風機	
9:00	30.1	26.5	—	調査地点①
11:00	31.9	—	26.8	調査地点②
13:00	33.0	—	—	調査地点③



出典：「東京」の測定値は、環境省熱中症予防情報サイト

(https://www.wbgt.env.go.jp/record_data.php?region=03&prefecture=44&point=44132) による。

「武蔵野の森総合スポーツプラザ」の測定値は、東京 2020 オリンピック・パラリンピック熱中症予防情報サイト

(https://www.wbgt.env.go.jp/tokyo2020/jp/record_data.php) による。

図 8.8-2 暑さ指数 (WBGT) 測定結果 (2021 年 7 月 21 日)

2) 予測条件の状況

ア. 気象の状況

暑さ指数測定日の気象概況は、表 8.8-5 に示すとおりである。なお、東京管区気象台の測定値を使用している。

表 8.8-5 暑さ指数測定日の気象概況

項目		7 月 21 日 (水)
気温 (°C)	平均	28.4
	最高	33.6
	最低	24.3
湿度 (%)	平均	70
	最小	43
風速 (m/s)	平均	2.8
全天日射量 (kW/m ²)		0.93

出典：「各種データ・資料」(2021 年 10 月 1 日参照 気象庁ホームページ)

https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/index.php?prec_no=44&block_no=47662&year=&month=&day=&view=

イ. 周辺土地利用条件

道路、建築物、樹木等の周辺土地利用条件は、予測条件と同様であった。

3) ミティゲーションの実施状況

ミティゲーションの実施状況は、表 8.8-6 に示すとおりである。なお、歩行者空間の快適性に関する問合せはなかった。

表8.8-6 ミティゲーションの実施状況(東京2020大会の開催後)

ミティゲーション	・アクセス経路沿いの既存街路樹について可能な限りの保全を図る。	
実施状況	アクセス経路沿いの既存街路樹について可能な限りの保全を行っている。	
		
アクセス経路（主要市道 32 号線）の街路樹		アクセス経路（主要市道 32 号線）の街路樹
ミティゲーション	・その他の都道の街路樹や公園の樹木を適切に維持・管理することにより、夏の強い日差しを遮る木陰を確保するとともに、まとまった緑による気温上昇の抑制効果を高めている。	
実施状況	計画地周辺の街路樹、公園等の樹木については、計画的な維持管理が行われている。	
		
西競技場西側の街路樹		西競技場における木陰の確保
ミティゲーション	・日陰の確保等歩行者空間の暑さ対策について可能な限りの配慮を行う計画である。	
実施状況	樹木の生育が良好となるよう適切に維持管理し、可能な限り日陰を確保している。	
		
スタジアム通りの日陰の確保		スタジアム通りの日陰の確保

(2) 予測結果とフォローアップ調査結果との比較検討

1) 予測した事項

ア. 緑の程度

公共交通機関から計画地への主要なアクセス経路では、既に歩道上の街路樹により緑陰が形成されており、緑の程度は事業実施前と同様であった。

以上のことから、事業実施前の緑量は維持され、予測結果とフォローアップ調査結果は、一致する。

イ. 歩行者が感じる快適性の程度

暑さ指数の測定結果は、日向で 30～33℃、建物影で 27℃、送風機下で 27℃であった。

アクセス経路沿いの既存街路樹について可能な限りの保全、街路樹や公園の樹木を適切に維持・管理が行われ、暑さ対策に配慮がなされていた。

予測結果は、日影のない直射日光下では最大で 32℃、街路樹や沿道の樹木、沿道の建築物等による日影下では 28℃程度であり、調査結果は予測結果と同程度であった。